

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



【定点把握疾患】2025年 第48・49週(11月24日~12月7日)

八丈島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:11件(48週)、2件(49週)
水痘:1件(48週)

青ヶ島 インフルエンザ:3件(48週)、なし(49週)



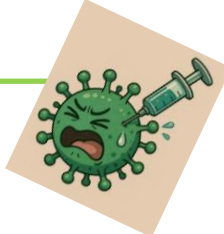
【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第47・48週(11月17日~11月30日)

- ・47週 警報基準にあるインフルエンザの定点当たりの報告数は51.69と増加しています。
- ・48週 インフルエンザの定点当たり報告数は35.76と減少していますが、依然として警報基準を上回っています。

インフルエンザに注意!

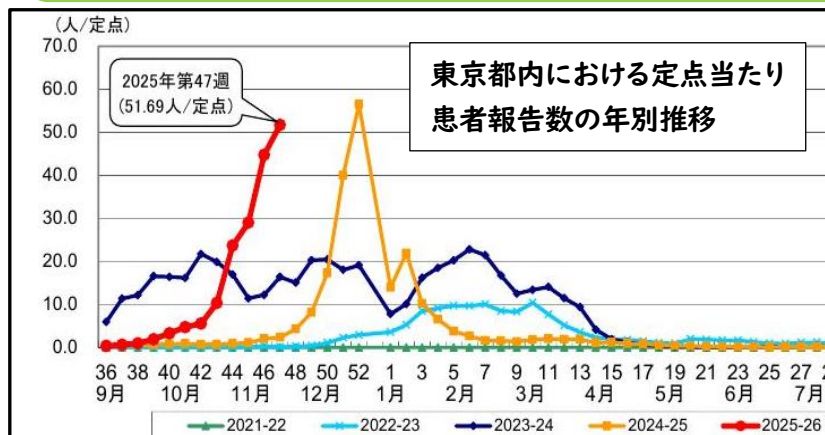
どんな病気?

- ・インフルエンザウイルスを原因とする呼吸器感染症です。
- ・主な症状は発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、咳、鼻水などです。
一般的な「風邪」に比べ、全身症状が強いことが特徴です。
- ・多くの人は1週間ほどで回復しますが、高齢者や心疾患など基礎疾患がある方は、肺炎を伴うなど重症化することがあります。
- ・治療には抗ウイルス薬(タミフル、リレンザ等※)と症状を和らげる対症療法があります。
※抗ウイルス薬が効果的に作用するには、発症から投与までの期間が関係します。医療機関の診断に従ってください。



どうやってうつるの?

感染者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」と、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」により感染します。



現在、東京都では患者数が急速に増え、警報レベルとなっています。流行しているインフルエンザウイルスはA型が中心ですが、新たな変異株であるサブクレードK(J.2.4.1)が出現し、流行の一つの原因になっている可能性があります。このウイルスは新型インフルエンザではなく、季節性インフルエンザA(H3N2)の変異とされています。新しい変異株であることから、過去のシーズンと比較して早い流行になった可能性が考えられます。

予防のポイント

重症化予防には、引き続きワクチン接種が有効です。(医療機関と相談しましょう。)
こまめな手洗い、十分な栄養と休養に努めましょう。室内は換気を行い、十分な湿度(概ね50~60%)を保ちましょう。咳エチケット(咳・くしゃみがある時はマスクをする、口や鼻をティッシュでおおう、周りの人から顔をそらす)を心がけましょう。

島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

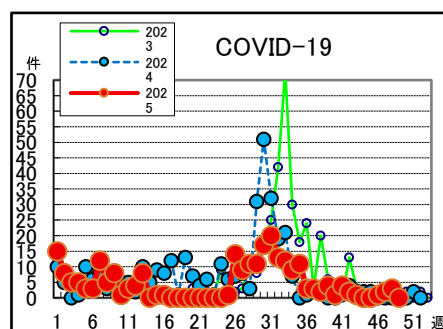
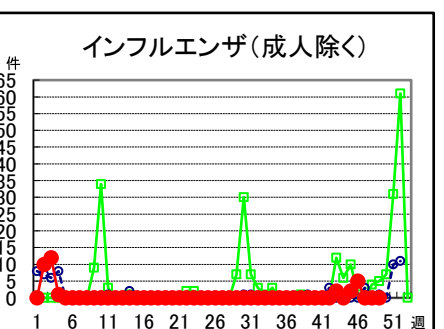
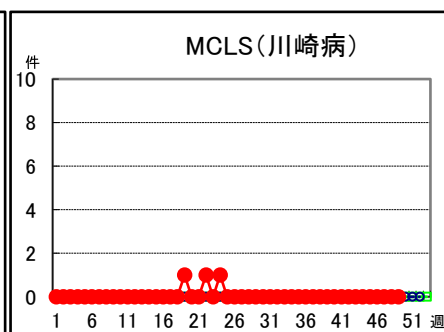
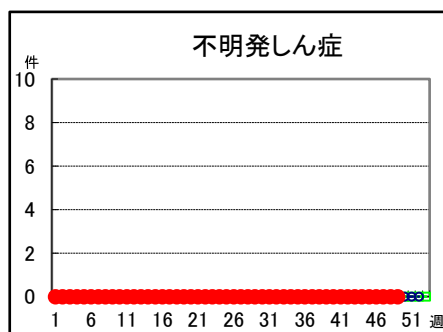
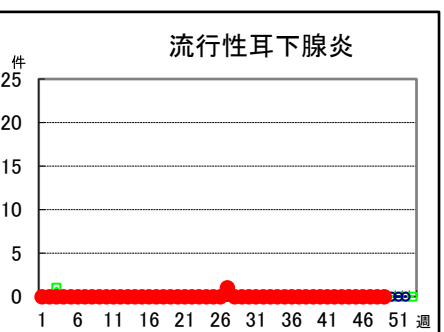
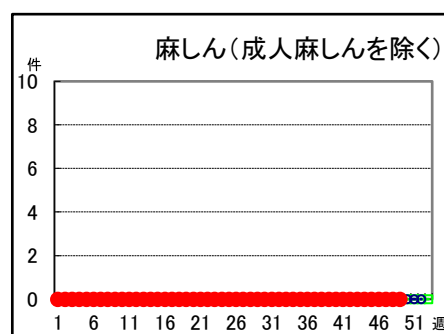
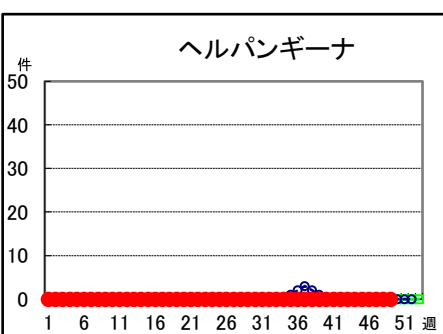
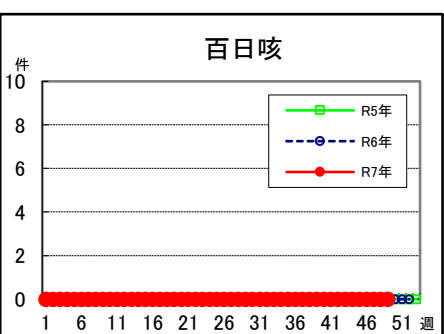
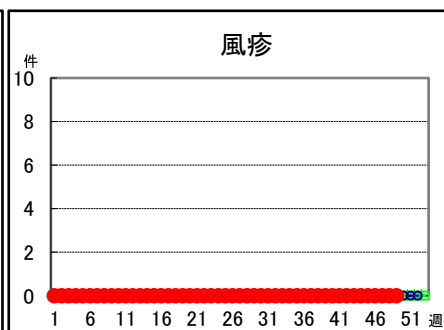
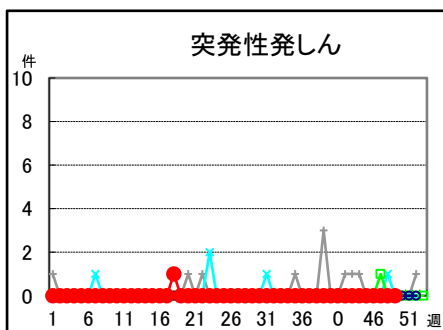
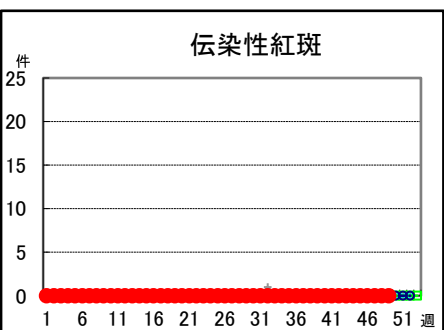
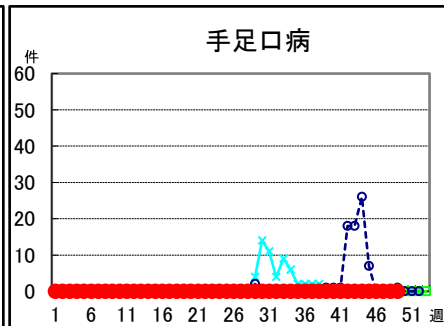
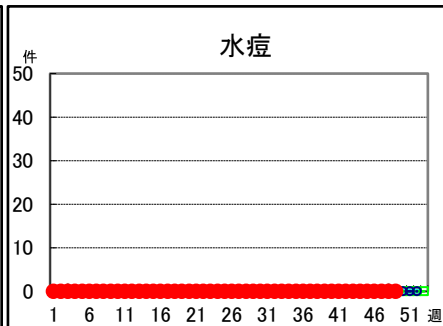
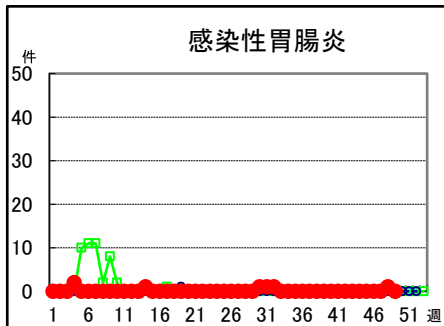
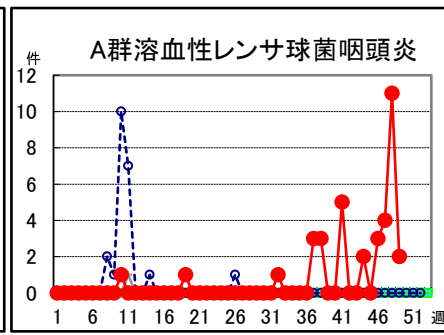
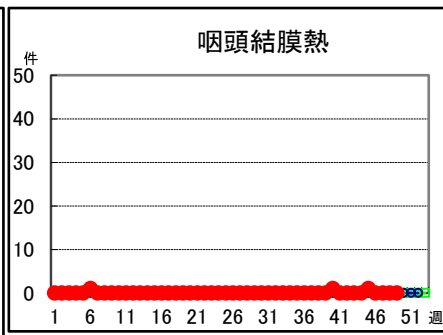
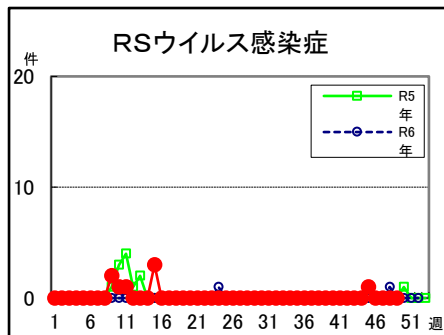
※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>

○東京都(全域)⇒Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

○全国⇒国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

○厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生および、まん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】
島しょ保健所 八丈出張所
電話:04996-2-1291
FAX:04996-2-0632